

□ よいスタートができました!～目・耳・へそ・口を使い分けてよい学びを～

北陽小学校の保護者の皆様、ゴールデンウィークに入りました。有意義に過ごされてください。

さて、始業式の日、子どもたちに“目・耳・へそ・口”の授業での使い方について、話をしました。話し手の方をしっかりと見る“目”、何故だろう?何を言いたいのだろう?と考えながら聴く“耳”、全員が話し手を大切に体に向けて聴く“へそ”、言葉を出す時に話し、言葉を出さない時には閉じる“口”、日々の授業でしっかりと取り組んでほしいことを伝えました。

そして、上手くそれができていない仲間がいる時には、優しく優しく教えてあげたり、だれもができるような雰囲気をつくってほしいことも併せて話しています。

4月が本日で終了しますが、どの学級でも落ち着いて学習している子どもたちの姿が見られます。“目”“耳”“口”は、よい方向に進んでいます。“へそ”は、学年学級で習熟してくると高まっていくと思います。まだまだ成長しなくてはならないところはありますが、子どもたちは先生方と共に、よいスタートをしています。ご安心ください。

□ 《あ・は・は》運動を今年もよろしくお願いいたします。

子どもたちの心と体の準備を整え、成果を上げるためにも、みんなで取り組みましょう。

あ・あいさつ 返事 元気よく! は・早寝 早起き 朝ご飯! は・はきものそろえ いい気持ち!

□ これからの学校づくりを進めています。～C・S、県指定研究校として～

(1) 長崎県教育委員会より「令和の学校文化創出プロジェクト」という研究を北陽小学校が県下の小学校の中では唯一3か年計画で指定されて推進しています。

- ・「前例主義」「横並び主義」を脱却し、「何のための学校か」を問い直し、令和の長崎スクールの土台となる環境づくりとして「当たり前」を見直した新しい学校文化の創造を目指す。

⇒①午前中5時間授業の活用…4月の3週間、7月の約2週間、9月初め1週間 etc
(子どもの活動充実のために教職員の協議や個人面談や自宅確認等の時間確保)

②水泳指導民間委託…7月最後の週～9月初めの2週

(専門のコーチによる充実した指導、教員のプール管理や指導の負担軽減)

③通知表2回…11月下旬と3月最後に

(7月の個人面談を活用しての効果的な通知表作成による教職員の働き方改革)

④学級担任をベースにしたチームでの教育活動の充実…年間を通して

(教員個々のよさを多くの子どもたちに。困り感や苦手なことは支え合いで。)

※ 今後、様々な取組を職員で相談をして、できることを進めてまいります。

(2) コミュニティ・スクール(C・S)に移行しています。

- ・学校と家庭と地域が連携・協働して子どもたちを育成すると宣言した学校

⇒①校長が提案した学校経営を進めているのが他の学校ですが、C・Sになると、校長が提案した学校経営を学校・家庭(育友会)・地域の代表によって構成される学校運営協議会で協議し承認された内容で教育を進めるようになります。

②学校・家庭・地域がお互いのよさをお互いのために出し合い、協働活動を進める取組を充実させていきます。